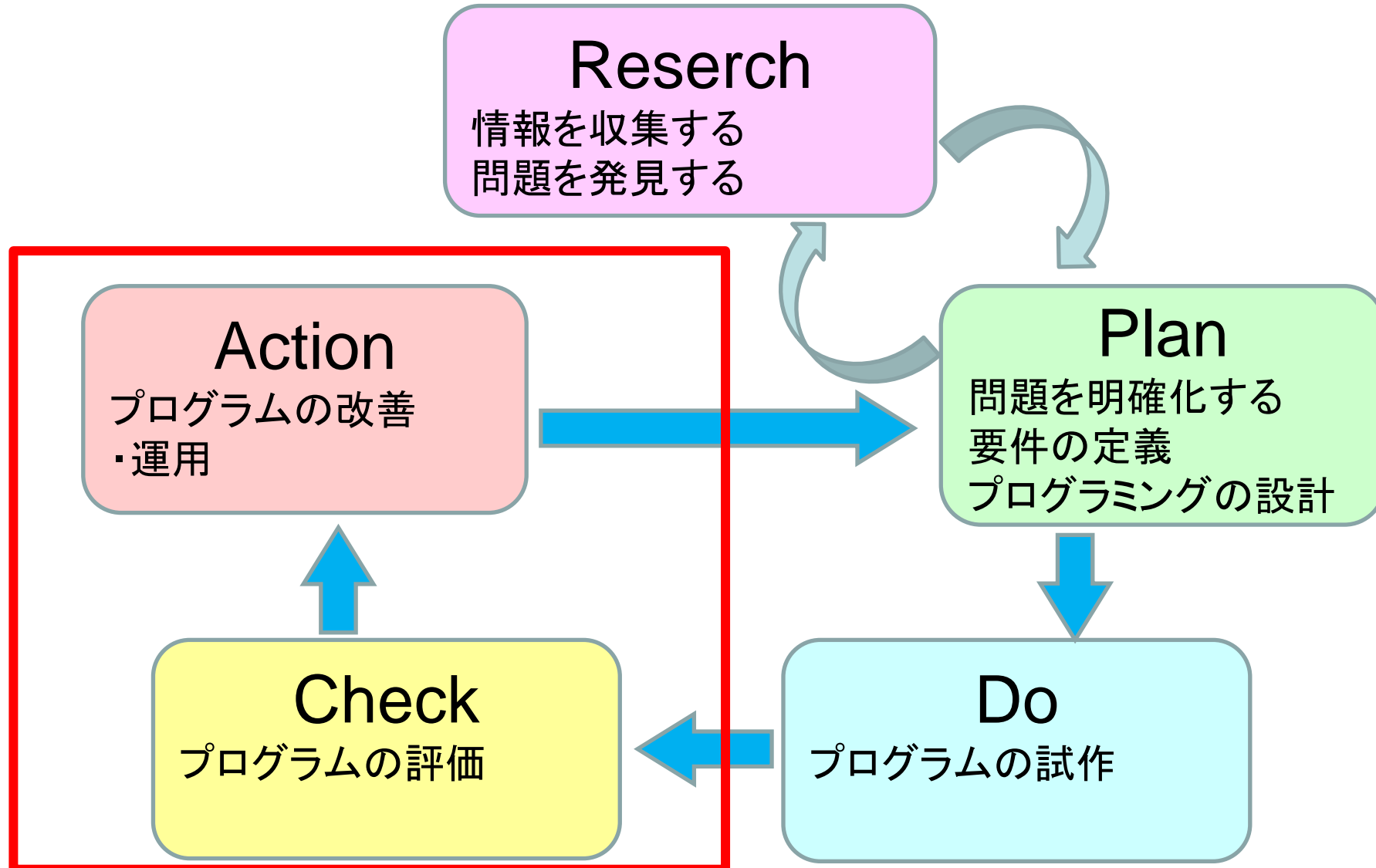


プログラミングと問題解決

情報 I 第52回授業

08コンピュータとプログラミング

本日の作業



デモンストレーションタイム【概要】

- 発表グループ(別に指示します)に組みなおします。
全員が一人で自分のグループの作品を、発表・説明します。
- 実際に動かして体験してもらうとともに、プログラムの中身を見せながら説明してください。
 - 実演、プログラム中身の解説、工夫した点、課題 など
- 3分程度で体験・説明を終えてください。
- 終了後、2分間でコメントをもらいます。
- これを人数分繰り返して行います。

実習 乱数で「何か」を作ろう

- 乱数と、判断分岐または繰り返しの機能を使って、「何か」のプログラムを「グループで最低1つ」作ろう。
- 楽しいもの、役に立ちそうなもの、など、何でもOK。
- 意味がわからないものはダメ。誹謗中傷も厳禁！！
- グループ作業です。グループ内はたくさん助け合ってください。
ただし、この時間はグループ以外の人と相談するのは禁止！
- グループメンバー全員が、同じプログラムを再生できるように打ち込み作成しておいてください。
- 調整時間5分間です。しっかりと取り組みましょう。

本日の手順

発表の打合せ(5分)

デモンストレーション

1 概要説明

- ・実演
- ・プログラムの解説
- ・工夫した点
- ・課題 など

(合計3分)

見学者のコメント

(一人ずつ)

- ・良かった点
- ・改善提案

をコメントする

(合計2分)

※この時間帯に、不明な点や質問のやりとりを
すると良い

指摘された箇所の吟味
修正作業(終了時刻まで)

評価・改善の視点

- 「完成」していますか？ 正しく機能しますか？
 - まずはしっかりと完成させましょう。
- 自分たちの「目的」にあった内容となっていますか？
 - 「面白い」「役に立つ」内容ですか？
- 効果的な乱数や繰り返しの利用となっていますか
 - 「効率的な工夫」がなされていますか？